

令和4年度 廃棄物対策部会 議事概要

(開催要領)

- 1 開催日時：令和4年9月1日（木）10：00～10：30
- 2 場 所：岡山コンベンションセンター 404会議室
- 3 出席者：
  - 委員（五十音順、敬称略）  
阿部宏史、伊東秀之、妹尾洋子、内藤はま子、藤原健史  
／計5名（欠席1名）
  - 事務局（県）  
循環型社会推進課長、事務局職員

議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 部会長の選出</li> <li>2 副部会長の指名</li> <li>3 循環型社会推進課業務について</li> </ol>
会議資料	別添資料のとおり
議事概要	<p><b>【議題1】</b> 部会長の選出 互選により、部会長に阿部委員が選出された。</p> <p><b>【議題2】</b> 副部会長の指名 部会長から、副部会長として藤原園子委員が指名された。</p> <p><b>【議題3】</b> 循環型社会推進課業務について 事務局から資料に基づき説明した。</p>
-委員意見等- 委員	資料P1（2）イの3Rの取組を促進するためのアドバイザーはどこから派遣されるのか。
事務局	岡山県環境保全事業団から派遣している。
委員	資料P1（1）アに記載のあるファミリーエコチャレンジコンテストとは具体的に何をしているのか。
事務局	夏休み中に家族と取り組める食品ロスや海ごみ対策についてとりまとめをして応募をしてもらい、審査の上表彰を行っている。個人の部と団体の部を設けている。
委員	個人・団体とも応募にあたり何かツールを与えるのか。

事務局	ある程度のメニューは示しているが、さらに自分たちで考えて取り組んでいる人もいます。
委員	例えば環境家計簿のようなツールがあると取り組みや評価が行いやすい。ある程度のメニューを用意しているというのは良いやり方だと思う。
委員	廃棄物について、市町村と県の責任はそれぞれであるが、市町村と県との連携が我々側からは見えない。市町村と県それぞれの役割や、それぞれの成果をより伝わる形で発信できればよいと思うし、現に成果は出ている。